

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年 9月 5日

事業所名:放課後スクール ユニクスさが

保護者等数(児童数): 11 (11) 回収数: 6 (回収割合: 54.5%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1	0		2つの活動ルームと、その他のスペースを使い分けることで、十分なスペースとなるよう工夫しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0		配置数は基準を満たしています。また、定期的な職員研修の機会を設けており、今後も専門性の向上に努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	0		子どもの安全に今後とも配慮します。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	6	0	0		客観的な視点から、子どもと保護者のニーズに合わせた計画を作成します。また、支援の内容を分かりやすく説明することに心がけます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	5	1	0		日ごとにプログラムを設け、内容が固定化しないよう工夫しています。子どもの状況に合わせ、楽しみながらスキルを身に付けられるプログラムを用意します。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	0		公園などでは、交流する場面がありました。地域に根ざした活動を増やしていく中で、交流する機会を作っていきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0		今後とも、支援の内容は分かりやすく丁寧に説明することを心がけます。また、福祉の制度などについても情報提供します。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていますか	5	1	0		連絡帳を通じて、子どもの状況を保護者と共有しています。定期的な面談をおこない、共通理解を深めています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	2	0		子ども、保護者と定期的に面談をさせていただいています。個別のご要望があれば、いつでもご相談いただけることを周知します。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	2	0		毎月、保護者のためのイベントを開催し、保護者同士の交流の場を設けています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0		子どもや保護者からの苦情があった際には、全職員で共有し、迅速に対応します。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0		対話だけでなく、カードや交換日記などのツールを用いて、情報伝達がスムーズになるよう工夫しています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0		複数のWebサービスを通じて、活動の様子や連絡体制等の情報を、子供や保護者に対して発信しています。
	14 個人情報に十分注意しているか	6	0	0		個人情報は鍵付きのキャビネットに保管しています。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	3	0		今後、保護者会などで、各種マニュアルについて再度周知する機会を設けます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	4	0		子どもとの避難訓練は定期的に行っています。保護者対象の安否確認訓練などもおこなってまいります。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	・安心して楽しく通っています／卓球台に興味を持ってました。	子どもが安心して楽しく通える居場所となるよう、全職員が、支援の質の向上に努めます。
	18 事業所の支援に満足しているか	6	0	0		研修等を通じて、全職員の能力の向上を図り、安定した適切な支援を提供できるよう努めます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和4年 9月 5日

事業所名：放課後スクール ユニスクさが

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	活動ルームとその他のスペースを使い分けている。	静養室などには、仕切りはあるが完全個室ではないため、音などの刺激への配慮をするよう努める。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	配置数は基準を満たしている。	子どもの来所時刻がまちまちであるが、今後も適切な職員配置をおこなっていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	0	子どもの安全に配慮している。	ビル入り口の階段にはスロープを設けるなどについて、検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	0		業務改善のためのミーティングはできるかぎり全職員が参加し、職員の意見を改善につなげていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0		アンケート結果を受けて、次年度の業務改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0		自己評価の結果は公開し、保護者にも周知する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	0		第三者による評価を受ける機会を設け、業務改善を目指す。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0		会場や、リモートでの研修参加を奨励していく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	子どもと保護者のニーズに合わせた計画を作成している。	客観的な視点をもって計画を作成する。また、支援の内容をわかりやすく説明する。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0		アセスメントツールについては職員間で共有し、使用する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0		さまざまな新しい活動の提供をし、子どもの興味や関心を広げるよう努める。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	日ごとに、活動が固定化しないよう授業を組んでいる。	新しい活動が苦手な子どももいるが、プログラムは固定しないように今後も努めていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0		長期休暇中は、平日にはできないお出かけや季節の行事などに絡めた活動で、課題を設定し支援していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0		子どもの特性や状況によっては、個別の活動が主になる場合もあるが、部分的にでも集団活動に参加できるよう支援していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0		今後とも、毎日のミーティングで、個々の子どもに応じた支援についてや、業務分担などについて話し合いをする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	毎月、全職員が参加するミーティングを開催している。	毎朝のミーティングで、前日の支援についての振り返りをおこない、気づいた点等について共有している。緊急時は、その日の内に話し合いをする。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0		正しく記録をとり、その記録をもとに、個別の計画にそった支援となっているか日々検証・改善していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0		定期的にモニタリングを行い、職員間だけでなく保護者とも話し合いの場を設ける。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	0	0		ガイドラインにある基本活動を組み合わせ、活動を提供できるよう努める。
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0		今後も、会議には、その子供の状況を把握し、的確に説明できる者が参画するようにする。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0	学校へ訪問し、子どもの担任教諭から聞き取りをするなど、連携に努めている。	学校を訪問し、子どもの担任教諭と話し合って連携するなど、学校との情報共有や連絡調整を適切に行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	0		医療的ケアが必要な子どもの利用はまだないが、もし受け入れる場合は、主治医等との連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0		中高生が主に利用しているが、就学前に利用していた施設との間での情報共有にも努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	0		まだ卒業をむかえた子どもはいないが、子どもが学校を卒業するときは、移行先の施設へ支援内容等の情報を提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0		適切な支援が提供できるよう、専門機関とは定期的に連絡を取っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	0		子どもや保護者の意向をふまえ、交流の場を設けていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	0		代表者だけでなく、職員も積極的に参加する意識を育てる。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	連絡帳や、定期的な面談を活用している。	定期的な保護者面談、三者面談をおこない、連絡帳に記載した内容以外にも、細かな情報を共有するよう努める。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	0		今後とも、保護者の対応力の向上をはかるため、定期的な面談などで助言や支援を行っていく。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	支援の内容はていねいに分かりやすく説明し、福祉制度などの情報も提供している。	保護者や子どもに不安が残らないよう、ていねいな説明を心がけ、相互に気持ちよい関係性を作っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	個別の要望があれば、いつでも相談に応じることを周知している。	社内外の研修などを通じて、職員ひとりひとりがスキルアップに努め、適切な保護者対応ができるようにする。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	毎月、保護者のためのイベントを開催している。	毎月の保護者会など、保護者同士が交流できるイベントは、今後とも継続していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0		子どもや保護者からの苦情はまだないが、もしあった場合に備え、対応の体制を整えていく。また、苦情には迅速かつ適切に対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0		複数のWebサービスにて、今後とも活動や連絡体制などについて子どもや保護者に発信していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	個人情報は鍵付きのキャビネットに保管している。	写真の掲載などには、今後也十分注意しおこなっていく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	交換ノートやカード、連絡帳を活用している。	子どもの特性に配慮し、交換ノートやカード、連絡帳を活用して、意思疎通や情報伝達をおこなっていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	0		近隣住民が広く参加できるような事業所独自のイベントも、今後企画していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0		マニュアルは策定されているが、周知が不十分なところがあるため、保護者に対しては十分な説明をおこなっていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	防災についての授業なども展開している。	年2回の避難訓練だけでなく、保護者対象の安否確認訓練などもおこなっていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0		社内外の研修を通じて職員のスキルアップをはかり、虐待防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2	0		やむを得ず身体拘束を行う場合については、保護者と子どもには詳しく説明する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	0		食物アレルギーのある子どもの受け入れはまだないが、もしあれば、医師や家族と連携する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	0		ヒヤリハット報告書を作成し、全職員が情報を共有できるように努める。